

2011 年

全国 11 会場で「平成 23 年度スチール・ドア契約適正化研修会」開催される

10 月 18 日から 10 月 27 日まで全国 11 会場で開催された『スチール・ドア契約適正化全国研修会』は、今年のはのべ 332 名の出席者を集め、各会場とも熱心な受講風景を見せるなか終了しました。

「スチール・ドア契約適正化全国研修会」は、(財) 建設業振興基金協賛のもと (社) 日本サッシ協会、(社) カーテンウォール・防火開口部協会と当協会が共催し例年実施しています。

今年、新たなテーマとして「ステンレス鋼板の技術的説明」、また、平成 22 年 12 月に内容が改定されたことを受けて「契約適正化の推進・施工条件・範囲リスト改訂・日頃の問題点に対する対応策・契約条件の確認と文書化」として、積算方法の改善についての講義も行いました。

この研修会は、法令遵守のもと元請業者と下請業者との対等な関係を構築し、正しい積算による公正且つ透明な取引の実現を図ること等を目的としています。



研修会の模様

平成 23 年新年祝賀交歓会開催される

1月25日（火）、恒例の新年祝賀交歓会が、東京・千代田区のグランドアーク半蔵門「富士の間」において開催された。当日は、来賓、会員、報道関係者を合わせて約230名が出席する中、沖村恒雄・協会専務理事の司会で開会した。冒頭、挨拶に立った岩部会長は、今後増え続けるストック市場に対して、これまで以上に保守点検、維持管理の取り組みを強力に推進していくと新年の抱負を述べた。

続いて、来賓として出席いただいた井上俊之・国土交通省大臣官房審議官より、住宅を含む建築投資拡大策をしっかりと推進することが内需拡大の柱になるという内容の祝辞を頂戴した。また、同じく来賓の菅原進一・東京理科大学教授からは、シャッター・ドアの非常時に果たす役割の重要性と併せて、今後は全く新しい角度からストック型の維持管理を考えていく必要があるとの提言を交えた挨拶を頂いた。

その後、東田誠之・協会副会長の乾杯の発声で歓談に移り、出席者でうめつくされた会場内に交歓の輪が広がった。開会から約1時間後、中屋俊明・協会副会長の中締めが行われ、終始和やかな雰囲気の中、今年の賀詞交歓会はお開きとなった。



東田誠之副会長による乾杯の発声



井上俊之・国土交通
省大臣官房審議官



菅原進一・東京理
科大学教授



岩部金吾会長



東田誠之副会長



中屋俊明副会長